

RYOMA

WHITE PAPER

V 1.1



INDEX

- 01. イントロダクション
- 02. RYOMAの特徴
- 03. RYOMAとDEX
- 04. トークン概要
- 05. 資金使途
- 06. ロードマップ

01

イントロダクション

Introduction

近代日本の幕開けに大きな功績を残した英雄と名高い坂本龍馬。「世界に出たい」という自分の夢に向かって動き、そして多くの人を動かした人物でもありました。

坂本龍馬は、「個性的で豪快な人物」「破天荒な人物」という印象が強く、「薩長同盟」や「大政奉還」に尽力し、困難な状況においても信念を持って解決策を見出してくれる人物という評価も少なくありません。

大きな時代のうねりの中でも、自分の信念やビジョンを持ち進むべき道を指し示す。そんな幕末の英雄、坂本龍馬をモチーフにした仮想通貨 RYOMA トークンを掲げた新しい DeFi プロジェクトです。

坂本龍馬の行動は国を動かし、明治維新へと繋がりました。それになぞらえて、幕末スワップも今までにない DeFi の形を示し、仮想通貨業界に「クリプト維新」をもたらす、象徴的な存在を目指します。

RYOMA が解決する課題

利回りの良い投資手段である仮想通貨マイニングは魅力的な投資商品ですが、個人で行うには設置場所の確保、安価な電気の入手手段、マイニング効率の良い GPU の入手手段といった困難な課題が多く、ハードルが高いのが一般的です。

従って、私たちのような専門の組織が代行する事で、設置場所の問題を解決し、また安価な電気や GPU の入手コネクションがあるので、電気代と GPU の問題も解決する事が可能です。

そして、DEX のガバナンストークンにこの投資商品の機能を付与する事で、個人投資家が小分けで投資する事が出来るようになります。

02

RYOMAの特徴

Feature

幕末スワップ RYOMAトークン(龍馬コイン) のプレセールでは、価格の大幅な下落を抑えるため「ロックアップ」という制度を導入しています。ロックアップとは、購入したコイン枚数の50%は一定期間売ることができないという制約です。

つまり約半年間は資金がプールされている状態を維持できるため、価格が下落しづらい仕組みとなっています。

また、幕末スワップ RYOMAトークン一人の購入上限は20ETH(およそ900万円)となっているため、大口の売り抜けによる価格暴落を防いだ上、多くの志士(RYOMAトークンの保有者)に配当を与えることができる仮想通貨となっています。

価格の大幅下落を防ぐ仕組み

安定したマイニング
プール事業により
価格を維持

2

幕末スワップ RYOMAトークンで集まった資金は PoWマイニングへ投資され、毎月しっかりと利益が出せる状態を維持します。ユニスワップに上場するなもなきトークンに比べて RYOMAトークンはしっかりと実業を行うという背景がありますので、他トークンよりも資金を集められる根拠となります。

そしてマイニング事業が志士(RYOMAトークンの保有者)により支えられることで、事業はどんどん拡大していき、その分 RYOMAトークンの価格も上昇し続けます。

3

ユニスワップ上場時は 高いキャピタルゲインが見込める

RYOMAトークンは、グローバルで信頼できる仮想通貨取引プラットフォームである「ユニスワップ」上場時に、高い流動性による価値の上昇が見込まれます。

なぜなら、ユニスワップ上での仮想通貨の売買は24時間年中無休で非常に迅速かつ簡単に操作が行われており、上場開始時にグローバルで数十億円規模の取引が行われることも珍しくないからです。

過去にユニスワップに上場した「SUSHIトークン」は、リリース時に270円でスタートしたのちに1週間で14億円を調達、一時1枚「2,380円」と高値を記録しました。

しかし2021年4月14日時点、DeFi(分散型金融)トークンの時価総額の合計金額1280億ドル(14兆円)から比べると、それはほんの一部に過ぎなく、トップにランクするトークンはUNI、LINK、LUNA、AAVE、CAKEなど、目まぐるしい勢いで市場での成長を遂げています。

RYOMAトークンは、製品の設計、運用、マーケティングにおいて、上場時にグローバルアウトリーチをかけています。

イギリス、中国、日本、シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、アメリカ、ロシア、韓国などを含む、これらに限定されない国と地域にコミュニティセンターを設立し、流動性を高めていき、CoinMarketCap、CoinGeckoに掲載されるトップ取引所へランクインすることを目指します。

私達のRYOMAトークンは、アジアのブロックチェーン専門家、ファイナンス専門家、テクノロジーオタクによって設立されました。

業界をリードする新たな仮想通貨取引プラットフォームを、経験豊富な技術チームにより、安全かつ簡単で使い勝手のよい環境にして提供します。

〈4〉 ステーキングと ファーミングでは 高い利回りが 見込まれる

現在、一般的な DEXにて運用されるガバナンストークンは、月利平均で 20%程度は当たり前の世界です。年利で言うと 250%~500%を「保有するだけで」もらえるということになります。「500%なんて利率信じられない!」と思われる方も多いですが、実際のところファーミングやステーキングの利率として考えれば一般的な数字です。

特に上場初期は利回りを多くしてマーケットを拡大しようとする動きをとるため、売らずに保有する選択肢をとる人もできます。すると上場時の暴落も起こりづらくなり、今後も長期的に利回りを生み出せる仮想通貨となるのです。

NFTとはブロックチェーン上の識別子を保有したトークンの中で、非代替性トークンとも言われています。

NFTでは「このトークンを誰が保有しているのか」を明確にすることができるため、デジタル世界における権利を明確にすることができます。

RYOMA独自の NFTマーケットプレイスを使用することで、アーティストはデジタルアートに対して、NFTを発行とリスティングすることができるようになります。

NFTはトラストレスで、分散型、透過性、改ざん防止の保護されたブロックチェーンネットワークに保存されるため、アーティストはアートワークの所有権を保護できます。

さらにアーティストは、Peer2Peerで購入または入札できるアートファン向けにマーケットプレイスで NFTを掲載することで、NFTを収益化できます。

〈5〉 RYOMA独自の NFTマーケットプレイスに おける決済手段

大手仮想通貨取引所 上場時にさらに数倍の キャピタルゲインが 見込める

6

RYOMAトークンはこれまでの DEXにないコンセプトを有し、仮想通貨業界にクリプト維新の風を吹かせます。クリプト維新が実現した暁には、大手取引所への上場も実現する事でしょう。

現在上場を目指して、すでに水面下で交渉の準備を始めている大手取引所は複数あります。一例を上げると、その取引所は以下の通りです。



03

RYOMAとDEX

ABOUT RYOMA AND DEX

3-1. 幕末スワップのエコシステムとガバナンストークンRYOMA

幕末スワップガバナンストークン RYOMAは、ERC20トークンであり、幕末スワップシステムの主要コンポーネントです。ユーザーがガバナンス・トークンリスト・取引検証および買い戻しに参加するための証明書でもあります。

RYOMAトークンの割り当てと権利確定

RYOMAは幕末スワップのガバナンストークンとして、**合計20億 RYOMA**あります。

RYOMAのスマートコントラクトアドレス `0x2b8A66201665cD8c36ab9F39127221847110Aa8e`

1 トークン供給全体に対して53%:

トークン供給全体の 53%を占め、10.6億 RYOMAが以下のようにコミュニティマイニングに割り当てられます。

- **最初の3年間：9.2億RYOMA**
- **4年目以降：1.4億RYOMAを長期的なインセンティブに使用**

※幕末スワップは、コミュニティベースの分散型トークンスワッププロトコルです。ほとんどのガバナンストークンは、コミュニティマイニングを通じて配布され、システムに参加するコミュニティメンバーに割り当てられます。

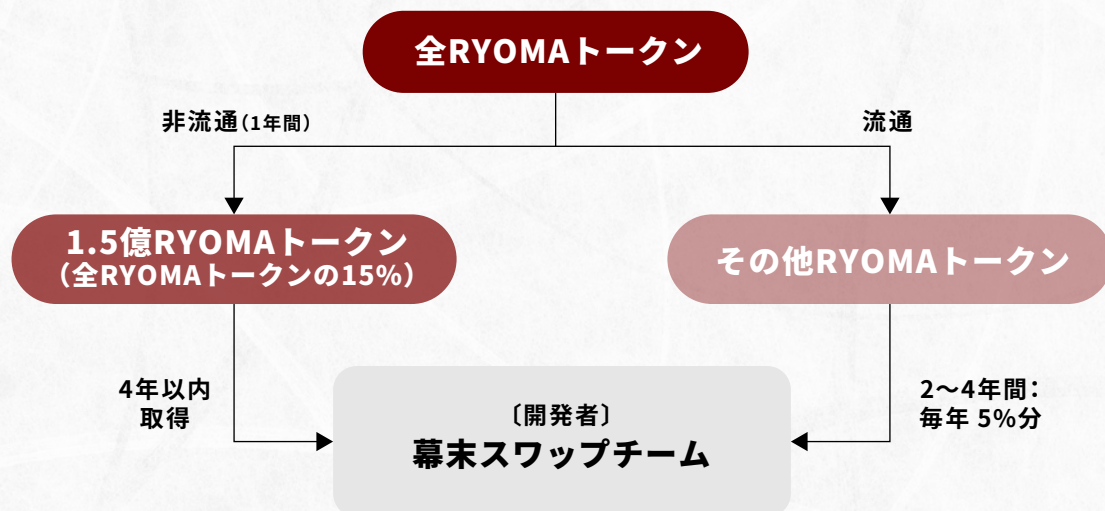
分配率

- ・ 初年度：トークン供給全体の 17%
(うち 4%はエアドロップに使用)
- ・ 2年目：同 18.50%
- ・ 3年目：同 10.50%
- ・ 4年目以降：同 7%

コミュニティマイニングに含まれるもの

- a. 流動性の証明 -マイニング：総供給量の 13%
- b. Proof-of-Gas：総供給量の 5%
- c. Proof-of-RYOMA-Snarks：総供給量の 10%
- d. LPファーミング：総供給量の 17%
- e. RYOMA保有者へのエアドロップ：総供給量の 8%

2 幕末スワップチームに対して15%



3億 RYOMAがメインネットの立ち上げから1年間のロックアップで、幕末スワップチームに割り当てられます。2年目から、トークンの総供給量の5%が4年目の終わりまで毎年幕末スワップチームに配布されます。開発者は、幕末スワップエコシステムの重要な参加者でもあります。幕末スワップ公式チームは幕末スワップの開発と保守を担当し、4年以内に全 RYOMAトークンの15%を取得します。

3 エコシステム開発者とエコシステムの成長に対して8%:

幕末スワップユーザーにサービス・製品を提供する
エコシステム開発者へのイニシアチブ割当率

- 4年以内: RYOMAトークンの8% (合計1億6,000万 RYOMA)
- 対象: エコシステム開発者およびエコシステムの成長イニシアチブ
- 4年間: 毎年2.0%配布

※8%の一部は初期段階のテストに参加するコミュニティメンバーのエアドロップおよびインセンティブプログラムに使用されます。

4 初期流動性に対して1%:

RYOMAトークンの総供給量1%は、RYOMAの初期流動性を提供します。(メインネットの立ち上げから)1年以内に、幕末スワップやユニスワップなどの分散型取引プラットフォームで使用されます。 ※初期流動比率: 2,000万 RYOMA/400万 USDT。

5 アドバイザーに対して1%

幕末スワップアドバイザーへの割当率は、トークン総供給量の1% (2,000万 RYOMA) です。

※3年間毎年0.33%ずつ配布。

3-2. 幕末スワップでのRYOMAの イールドファーミングとプロトコル料金

(1) 流動性マイニング(PoL)の証明について

幕末スワップ流動性プロバイダーへの報酬率

- システム内総供給量の13%
- 流動性マイニング(PoL) ※を介して分配

※流動性マイニング(PoL)は幕末スワップ取引にとって最重要要素です。

(2) ガバナンスについて

幕末スワップは限られた取引ペアをサポートします。

※幕末スワップチームによって設定された最初の取引ペアを除きます。

RYOMAトークンの保有者である志士は、特定のトークンを上場する為にRYOMAに投票または誓約することが可能です。また、上記ガバナンスプロセスを通じてコイン上場の提案を開始でき、過半数の票を獲得した場合はトークンを上場することが可能です。

大量の志士(RYOMAトークンの保有者)は、上場する為にRYOMAを差し入れることが可能です。幕末スワップチームは、投票または誓約の結果に基づいてトークンの上場を実行し、全ての志士は、1つのトークンが上場された後、取引ペアの作成や、流動性の追加が可能です。

(3) RYOMAプロトコル料金について

幕末スワップ契約上、全幕末スワップ(レイヤー2)の取引の0.3%が取引料金として請求されます。

【内訳】

- 流動性プロバイダー：0.25%
- ホルダー料金：0.05%

取引料金のうち、0.25%は流動性プロバイダーに分配され、0.05%はステーキングしているホルダーに分配されます。幕末スワップ担当者は取引料金を受け取りません。

(4) Proof-of-Gas(PoG)について

幕末スワップ(レイヤー2)の取引毎に、幕末スワップはセキュリティを確保するためにゼロ知識証明 (RYOMA-Snarks)をイーサリアム(レイヤー1)に送信する必要があります。

その際、イーサリアム(レイヤー1)との取引毎に、一定量の Gas料金を消費します。幕末スワップとの同期およびその他の幕末スワップ Upbotベースのシステムでは、Gas料金はユーザーが負担します。

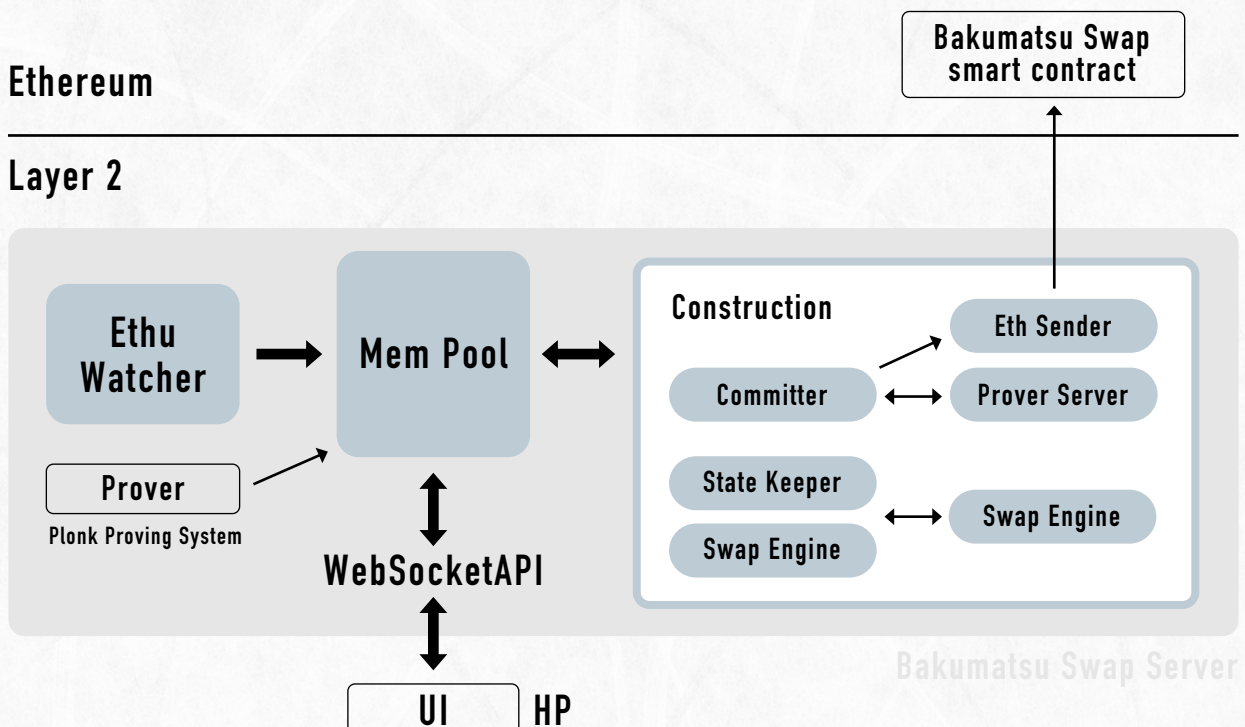
幕末スワップ(レイヤー2)のすべての取引は、ゼロ知識証明 (RYOMA-Snarks)を生成し、イーサリアム(レイヤー1)に送信する必要があるため、多くの計算が必要になります。初期段階で、幕末スワップチームはゼロ知識証明 (RYOMA-Snarks)を生成するために、多くの高周波 AMDGPUサーバーを展開しました。

ゼロ知識証明 (RYOMA-Snarks)が時間内にイーサリアム(レイヤー1)に送信される限り、誰がゼロ知識証明 (RYOMA-Snarks)を生成して提供するかは問題ではありません。理論的には、ゼロ知識証明 (RYOMA-Snarks)の生成に参加する人が多いほど、システムの TPSが高くなるため、安全でリアルタイムな取引を実現できます。

3-3. 幕末スワップシステム構造

幕末スワップシステム構造は以下で構成されています。

- オンチェーンのスマートコントラクト
- オフチェーンの幕末スワップサーバー
- ゼロ知識証明 (RYOMA-Snarks)システム
- フロントエンドのユーザーインターフェイス

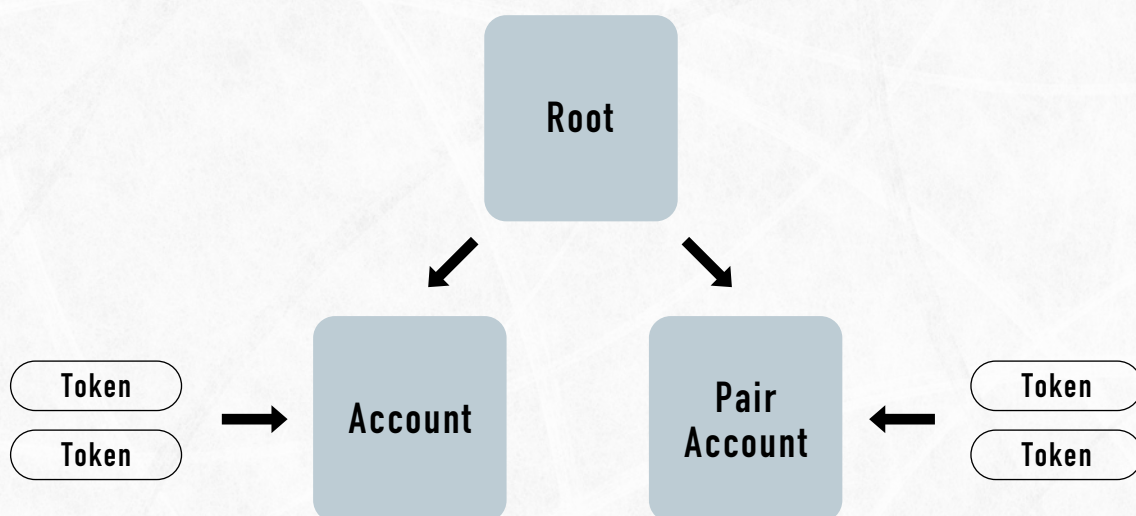


3-4. 幕末スワップ (レイヤー2) アカウントノード

幕末スワップ(レイヤー2)はアカウントノードの管理を2つに分けています。

- 【1つ目】 通常アカウントノード：アカウント内全てのトークンステータスを記録
- 【2つ目】 ペアアカウントノード：特定のトークンペアに幕末スワップ流動性プールのステータスを記録

二つのノードのみが生まれ、各ノードは幕末スワップ流動性プール内のトークン残高を表します。



04

トークン概要

TOKEN OVERVIEW

トークン名

Ryoma

シンボル

RYMA

トークン実装

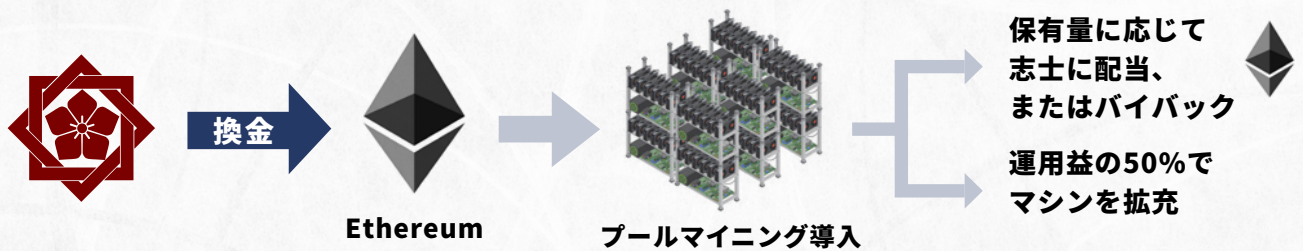
ERC-20

05

資金使途

USE OF FUNDS

幕末スワップ RYOMAトークンで集まった資金の一部は弾薬(ストック)として確保し、まずマイニングファーム運営に投資され、毎月しっかりと利益が出せる状態を維持します。その上で、RYOMAの保有量に応じて配当される、またはバイバックされる仕組みになっています。



06

ロードマップ

ROAD MAP

1

ユニスワップ上場

DEX(分散型取引所)ユニスワップ上場
トークン「RYOMA」を発行

2

ステーキング配当

RYOMA の保有量に応じて
DEX から志士(保有者)に配当

3

マイニングファーム運営

弾薬(ストック)の一部をプールマイニングの
投資に回し、運用益をさらに配当、またはパイバック

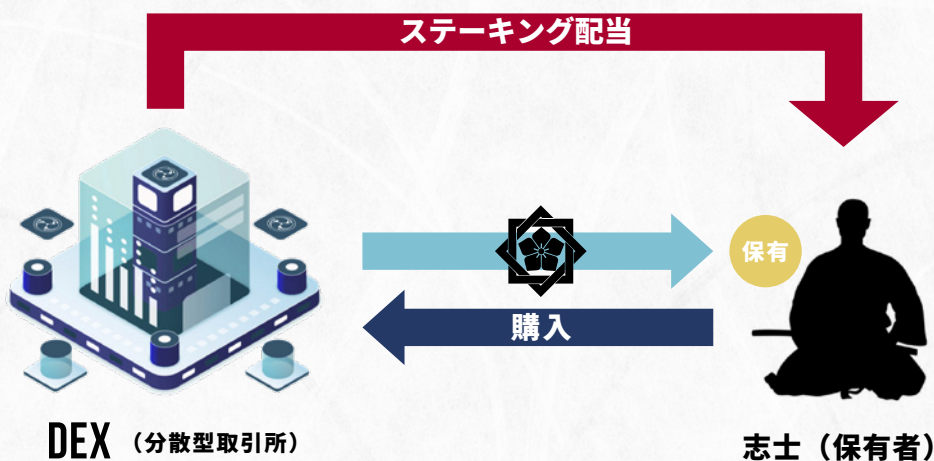
4

独自マイニングプール運営

運用益・弾薬・投資の規模を増大させ、
独自のマイニングプールを構築、運営

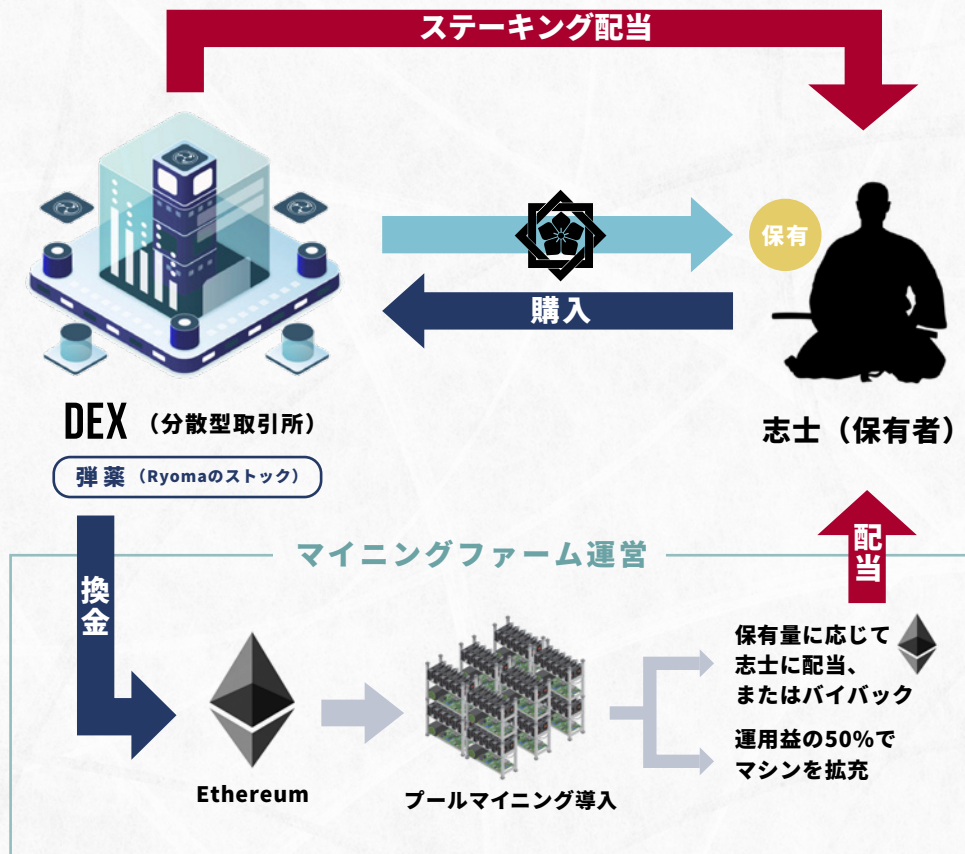
1 ユニスワップ上場 2 ステーキング配当

DEX から RYOMA を購入し DEX に預け入れるだけで、その保有量に応じて DEX から配当を得ることができます。ステーキングとは、仮想通貨を保有することで、その仮想通貨のブロックチェーンのセキュリティと運用に貢献し、その対価として報酬を得る仕組みのことです。



3 マイニングファーム運営

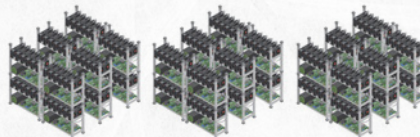
フェーズ3ではさらに、弾薬の一部を換金、プールマイニングの投資に回し、そこで得た運用益を RYOMA の保有量に応じて志士に配当、またはバイバックされます。また、運用益の50%をマイニングマシンの拡充に充てます。



4 独自マイニングプール運営



独自のマイニングプールを構築、運営





RYOMA